

設備について、(その1)

先回、QSLカードの話が少し出てきましたが、カードの発行についての説明不足がありましたので書いて置きます。基本的には、交信時のQSLカードは、まとめて「日本アマチュア連盟」宛に送ります。連盟は全国から送られてくるQSLカードを、会員1局1局に仕分けして交信相手局に、郵送します。その為には、「一般法人 日本アマチュア連盟」の会員と成る必要が有ります。連盟会員に入会するか、しないかは個人の自由で強制するものではありません。「一般法人 日本アマチュア無線連盟」については、後に、事業内容を説明します。では、会員で無い局はカードをどのようにして、相手局に届けるかですが、日本国内では郵便配送の方法です。カードに切手を貼ってポストインです。1枚2枚なら、切手代も大した事は有りませんが、頑張って居る局なら一か月に100枚以上です。これでは、連盟に加入して、年会費を払った方が安いでしょうネ。外国とも成れば、大変です。国内でさえ宛先を調べ無ければ成りせん。まして、外国なんて調べようが無いでしょう。交信した相手局が、その国の連盟会員(国際的な連盟が有ります)で有れば、相手局に届きます。その為には、交信時、カードの交換の方法を決めて置きます。カードはJARL(ジャーナル)で、又はビューローです、と伝えて置きます。相手局が会員でなければ、SASE(サセ)で、と、伝えます。(サセとは直接郵便と言う意味)カードの交換は強制は無く、必ず交換しなければ成らないと言う訳では有りません。「ノーQSL」(カード交換無しの意味)でも構いません。

話を本に戻し、無線機の設置場所ですが、茶の間は無理でしょう。テレビの音が聞こえない、音がウルサイ! って事に成ります。他の家族は、必ずしも、無線に興味を持って居るとは限りません。ヘッドホンをすれば、どうって事無いのですが自分の部屋が有れば机の上で、例外として中には押し入れを改造して、なんて有りますが、無線機1台、に電源器が1台なら場所を選びません。重ねて置いても問題は有りませんが、無線機からアンテナ迄の同軸ケーブルです。無線機の設置した近くに、コンセントは有りますか? 部屋の換気口は有りますか? 有れば換気口を利用して同軸ケーブルを外部に引き出します。アンテナの設置が一番問題に成ります。アンテナの種類に依って、設置する場所を決めなければ成りません。では、アンテナはどんなアンテナにしますか? まあ、近くと交信するなら大型のアンテナは必要有りません。運用する周波数にも依りますが、VHF、UHF、SHFなら、トリプルバンド(3バンド)のGP(グランドプレーン)アンテナで充分でしょう。先を見据えて、VHF帯やUHF帯での、国内のDXを狙うなら、八木アンテナに成ります。大型から小型迄様々ですが、取り敢えず様子見、と考えれば中間的な、少し指向性の有るアンテナに成ります。只、設置する場所が有ればの話です。周囲の条件も考えなくては成りません。では、規模の小さい物から順に書いて見ましょう。

地域に依り家屋の建て方にも特徴が有りますが、地域にこだわりなく有るのが、物干し台でしょう。物干し台の柱にパイプを添え建てして、そのパイプにGPアンテナを取り付ければ良いと思います。平屋建て、2階建てに依って、物干し台の場所が変わると思いますが、やはり高さは、高いほど良いでしょう。

アンテナの高さは、パイプの長さを調整すれば、屋根を越せます。越せれば、東西南北どちらにも電波は飛びますが、物干し台が1階の場合は、2階の屋根越しにするには、パイプの長さも長く成ります、余り長いと、強風に耐えられず、曲がってしまったり折れたり危険ですから、安全の為、妥協も必要です。アンテナの重量にも考慮しなくては成りません。GPアンテナの場合、重量は平均しても1,8Kg程度です。物干し台が無い場合は、庭に少し穴を掘って単独でパイプを建てて、倒れないように、支線を張ったりします。寒い地方の地域では、ストーブ等暖房の集合煙突が有ります。周囲、約40~50センチ程で大抵はコンクリートブロックで積み上げて居ます。煙突の周りを、鉄製のL型アングルで取り囲むような形に上下2か所組み、そのL型アングルにパイプを建て、アンテナを取り付ける事に成ります。二階建ての家屋には屋根に上る為の梯子が取り付けられている場合も有りますが、この梯子に、同じようにパイプを添え建てしてアンテナを取り付ける方法も有ります。

いずれにせよ、工夫次第ですが、安全を考えて建てて下さい。万一、パイプが折れたり倒れたりし、アンテナが落下して、お隣さんの屋根や壁に傷をつけたりしない様に、建てる場所も考えたり、しなくては成りません。お子使いに余裕が有れば、自立のタワーを建設するのが、一番手っ取り早い方法ですが、最初からタワーは考え物? 途中で飽きちゃった、は有りませんか? 次回はアパート又はマンション編です。

(一般法人 日本アマチュア無線連盟)略して、「JARL」とは、日本アマチュア無線連盟は、国内のアマチュア無線の発展と無線家の相互親睦を目的として発足したものです。以前は、会員数も相応に有りまして、財団法人と成って居ましたが、近年世の情勢で会員数も減少し、内部事業も、縮小され、今まで執り行って来た、内部の事業も外部団体へと分散されてしまいました。国内では、新しく無線を始められる方の為に、資格講習会を開催したり、上級者向けの講習やアドバイス、支援等、他事業を行なって居ます。又国際的には、相互間の親睦、発展と、交流を重ね、発展途上国への、援助をはじめとして貢献をして居ます。運営役員の殆どが、ボランティアとして運営に当たって居ます。